

報道関係各位

2017年2月15日
株式会社ストライプインターナショナル

社会貢献活動を顕彰する企業フィランソロピー賞を受賞 緑化活動「one tree プロジェクト」が評価を受ける

株式会社ストライプインターナショナル(本社:岡山県岡山市、代表取締役社長:石川康晴)は、当社 CSR 活動の一つである「one tree プロジェクト」が評価され、公益社団法人日本フィランソロピー協会「第14回企業フィランソロピー大賞」の企業フィランソロピー賞「育てよう 大地とともに賞」を受賞いたしました。2月14日に行われた贈呈式に受賞企業5社とともに参加しました。

企業フィランソロピー大賞は、社会課題解決のために自社の経営資源を活かし、経営理念に則った社会貢献活動を顕彰する賞です。

中国・内モンゴル自治区にあるホルチン砂漠での緑化活動を目的とした「one tree プロジェクト」は、砂漠化を食い止める防風林を形成するため、植樹の苗木代につながる商品を店舗で販売し、顧客である若い世代に環境問題を考えるきっかけを提供している他、参加社員が提案した CSR 関連企画を商品化するなど、様々な取組みを実施しています。このように CSR 活動を通じて人材育成や啓蒙に取り組んでいる点が評価され、今回の受賞に至りました。

当社は今後も、創業地である岡山を中心に地域やお客様、取引先の方々と共に様々な CSR 活動に取り組んでまいります。



植樹したポプラ



緑化活動の様子

■「one tree プロジェクト」概要

2009年に当社の主カブランド earth music&ecology(以下、アース)からはじまった中国・内モンゴル自治区のホルチン砂漠緑化活動プロジェクト。中国では経済活動がもたらした過度な耕作・放牧により、砂漠化が進行。消費国として恩恵を受ける日本にも責任の一端があることに加え、中国は当社事業において重要な地域であることから、このプロジェクトを開始した。2009年、プロジェクトに賛同するアーティストやデザイナーとコラボしたエコバックやTシャツをアースの店舗にて販売。商品を1点購入すると砂漠に苗が1本植えられるキャンペーンを実施し、1年間で80,000本分の苗が集まった。2010年より当社社員が現地に赴き、砂漠化を食い止める防風林を形成すべく植樹を開始。2014年からはグループ会社のストライプチャイナの社員、2015年からはキャンの社員も参加し、80,000本の植樹を達成した。現在は剪定や間伐などを継続して行っている。

※この活動は特定非営利活動法人 緑化ネットワークと連携して行っています。

＜参考資料＞

■「第14回 企業フィランソロピー大賞」プレスリリース:http://www.philanthropy.or.jp/release/20161219_award14th.pdf

- 選考のポイント
- ①「社会性」: 社会課題の解決に向けて真摯に取り組み、成果をもたらしている。
 - ②「先駆性」: 固定観念や既成概念にとらわれず新たな社会価値を創造している。
 - ③「波及性」: 広く、他地域や他企業などへ影響をもたらしている。
 - ④「経営との関連」: 経営陣の関与・経営理念との関連性が明確である。
 - ⑤「従業員の関与度」: 社内に広く理解され、積極的な従業員参加が見られる。

株式会社ストライプインターナショナル 広報部
〒104-0061 東京都中央区銀座4-12-15 歌舞伎座タワー18階
TEL:03-3524-1502 FAX:03-3524-8341 MAIL:public-info@stripe-intl.com